

要請番号 (JL60919B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガボン	C103 野菜栽培		個別	交替 2代目	2年	・ 2020/1 ・ 2020/2 ・ 2020/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

公共保健・国民省

2) 配属機関名 (日本語)

国際財団ランバレネ・アルベール・シュバイツァ病院

3) 任地 (モワイエン・オグエ州ランバレネ市) JICA事務所の所在地 (リーブルビル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ガボンのランバレネで地域医療活動に生涯を捧げたシュバイツァ博士の医療活動の精神を受け継ぎ、1981年に現在の病院が建設された。同病院には総合科、救急外来科、外科、手術棟、小児科、産婦人科、母子保健科、精神科、放射線科、検査室、歯科、薬局等が設置されている。2015年の受診者数は約22,500名。運営資金の殆どは財団から供与されている。2016年4月からは日本の支援により同病院併設の医療研究センターにて国際科学技術協力プログラム(SATREPS)が開始されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同病院には日本の支援として、草の根・人間の安全保障無償資金協力で滅菌処理室機材整備が行われている。また現在、JICA海外協力隊として臨床検査技師、看護師、野菜栽培の隊員が活動中である。医療サービスの向上のみならず病院の自己運営・維持管理体制の確立を見据えて、病院敷地内での野菜栽培が隊員によって進められている。病院内食堂や病院食での自給自足の実現に向け協力している。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

病院内での安全な食糧生産を目指し、病院関係者と協働により以下の活動を行う。

1. 病院敷地内で生産する野菜や果実、花卉類の栽培計画を立てる。
2. 関係者が作業しやすくするための栽培マニュアルを作成する。
3. 収量を増やし収益につながるか検討する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

耕運機、鎌、鍬、草刈り機

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 病院管理者1名(男性50代)、部所管理者1名(女性30代)、庭師1名(男性40代)

活動対象者: 庭師、病院関係者約200名、病院利用者

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（高卒）農学系 備考：野菜栽培の知識が必要

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：野菜栽培の経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

住居は同性隊員と同居になる可能性があります。